

研修会報告

平成 31 年 4 月 22 日

文責：生理検査部門 佐藤 貴光

研修会テーマ「心エコースーパーライブレクチャー ～もう一度見直そう！基礎計測～」

開催日時 平成 31 年 4 月 20 日（土）14：00 ～17：00

会場 仙台市立病院 3 階講堂

- ・「最新装置の紹介」GE ヘルスケアジャパン
- ・講演 1「精度管理フォローアップ講座～心臓超音波領域～」
講師：仙台市立病院 臨床検査科 若月 悠 技師
- ・講演 2「明後日から使える！心エコースーパーライブレクチャー」
①B モードの基礎計測 ②ドプラ法の基礎計測 ③左室・左房容積計測
講師：みやぎ県南中核病院 検査診療部検査部 藤田 雅史 技師
仙台市立病院 臨床検査科 若月 悠 技師

生涯教育点数：専門 20 点

参加者：会員 88 名 非会員 7 名 計 95 名

内容

今回はライブレクチャーを中心とし、ルーチンの基本となる各計測を実際にみて学ぶ研修会を企画した。

まず始めに、GE より超音波診断装置・Vivid E95 の紹介があった。全視野・全深度フルフォーカスの高画質、高精細な 4D イメージングなど、より高精度の診断を可能にする最新の技術を説明いただいた。

講演 1 では、心臓超音波領域の精度管理について詳しく解説していただいた。各病態と心エコーの関連のみならず、フレームレートなどの医用超音波の基礎分野についても再確認できる良い機会であったと考える。来年度以降も適宜フォローアップを行い、より有意義な精度管理としたい。

講演 2 は「明後日から使える！」のテーマ通り、まさにルーチンで欠かせない基礎計測を習得、再確認できるライブレクチャーであった。B モードの計測のポイントとして、大動脈径や左房径など計測項目ごとに適切な断面を描出することなどが挙げられた。ドプラ法では、サンプルボリュームの設定が計測に及ぼす影響、血流とドプラビームをいかに並行に描出するかのポイントを解説していただいた。また、容積計測では最新装置の Auto EF 機能についても紹介があった。日常検査に直結する知識、技術をライブで学ぶことができ、多くの参加者にとって有意義な内容であったと考える。

心エコー図学会認定の専門技師のライブレクチャーは大変貴重な機会であり、多くの参加があった。今後も宮城県臨床検査技師会員にとって価値ある研修会を開催していきたい。